

松木ジャンダルム

日時　： 2011年7月8日

メンバー　： 勅使河原、亀井

時間　： 6:00 宇都宮出発

7:30 銅親水公園出発

8:30 松木ジャンダルム取り付き

8:45 登攀開始

13:30 懸垂下降終了

14:00 2本目、登攀開始

15:30 2本目終了

17:00 取り付きに戻る

18:00 銅親水公園

内容　：

朝、雨の音に気づく。「今日は、ゆっくり起きてスポーレにしようか」とまどろみの中へ落ちていく。次に、アラームの音で目が覚める。谷嶋代表の言葉を思い出す。「たとえ雨が降っていても、取り付きまで行って登れないことを確認しなさい。」そして、PCの電源を入れ、シャワーを浴びる。インターネットで、衛星画像・天気図・アメダス・高層天気図を見てみる。行ってみる価値はありそうなので、足尾に向けて出発する。

銅親水公園に到着。雨はパラっつ・・・パラっつ・・・程度。路面も濡れていない。松木ジャンダルムに向けて、出発。湿度が高いためか、すぐに汗でびっしょりになる。渡渉するときの、水の冷たさが気持ちよい。再び大汗をかきながら、取り付きへ。取り付きでは休憩を兼ねて、のんびりと登攀準備をする。少々、気合が足りない感じもするが、勘弁してもらおう。

1本目・チョックストーンルート。すでに岩は乾いている。プロテクションをこまめにセッティングしながら、ロープを伸ばす。1ピッチ目は、チョックストーンの手前でピッチを切る。コールも良く届き、亀井くんが順調に登ってくる。

ピッチを切るたびに、亀井くんに感想を聞く。「この位（の難易度）が、楽しく登れます」このくらいが、プロテクションの回収やピッチの切り方の練習にはちょうどよきそうだ。

最後のピッチの終了間際は、ちょっと難しいルートをとってみたら、やっぱり苦労していた。

一本目の帰りは、懸垂下降。これも、練習になるだろう。でも、懸垂1本目、ロープの回収ができなかった。もう一本登るので、ロープの回収をあきらめ、一本のロープで懸垂をする。

二本目は、残ったロープをダブルにして登る。ピッチを短く切ることになるが、これも

良い練習だろう。頂上にて、回収できなかつたロープの挟まり具合を確認する。こんなんで、「回収できなくなるのか」と驚く。

二本目は、ロープの回収ができないと嫌なので、歩いて下る。本日もジャンダルムで楽しく遊べました。